

2014年財団活動交流集会を終えて

財団教育委員長 星 昌子

2012年財団創立60周年を記念して、これまで2つの病院で行われている活動交流集会を、2年ごとに財団合同で開催することになりました。

先日(2014年11月29日)、林病院ひまわりホールで行われた、2回目の活動交流集会について報告させていただきます。



準備段階では20演題を予定していましたが、25演題のエントリーがあり甲乙つけがたく、全て組み込んだスケジュールで開催しました。医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、作業療法士、介護福祉士など多くの職種が意欲的に取り組んだことがうかがわれました。

また、今回は共同組織である林友の会幹事からの発表もあり、友の会の活動が患者・家族の要求に根ざした内容で確実に定着していていることが参加職員にも具体的に理解できました。

参加者の感想では、林病院わたぼうしの「重度認知症デイケアにおけるフットケアの有効性」、薬剤科の「抗精神病薬の現状と課題」、医科の「睡眠薬減量の試み」に関心が多く寄せられました。



いずれの事業所や職場においても、患者さんが直面している困難に対して、それぞれの職種が専門性を活かし、一生懸命取り組んでいる様子が、ストレートに伝わる活動交流集会になったのではないかと思います。

次回は2016年です。それぞれの職場で引きつづき実践をすすめ、理論化する過程を通してスタッフ自らも成長し、2年後の財団活動交流集会にそれら全てを持って参加していただきたいと思います。